

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	○
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	
			地域コミュニティ・集落再生	○	環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		せき さちこ				
氏名		関 幸子				
所属	名称	株式会社ローカルファースト研究所				
	役職	代表取締役				
連絡	住所	(公開)	〒101-0052			
			東京都千代田区神田小川町3-8 神田駿河台ビル4F			(職場)
	連絡先	(公開)	E-mail seki[アットマーク]local-first.jp			
		(公開)	TEL 03-5577-4037	FAX -		
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		<p>1980年4月 三鷹市役所、図書館、企画調整室、経済課</p> <p>1999年10月 株式会社まちづくり三鷹に派遣(退職派遣)</p> <p>2007年4月 三鷹市役所退職</p> <p>2007年5月 財団法人まちみらい千代田 専門調査員 に就任 (2007年12月～09年3月まで秋葉原タウンマネジメント株式会社派遣専務取締役 就任)</p> <p>2009年10月 内閣府 企業再生支援機構担当室 政策企画調査官(非常勤)就任、 2010年9月30日 同省任期終了</p> <p>2010年10月 株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役 就任現在に至る</p> <p>2011年4月 内閣府経済社会総合研究所客員研究員 就任</p> <p>2011年8月 一般社団法人震災復興ワークス理事長</p> <p>2015年3月 東洋大学大学院 PPP 研究センター地方創生フォーラム事務局長</p> <p>2018年1月 内閣府自治体SDGs推進評価・調査検討会委員に就任</p>				
著作・論文等		<p>「21世紀の地域産業振興戦略」(共著 新評論、2000年)</p> <p>「インキュベータとSOHO」(著作編著 新評論 2005年)</p>				
取組概要		<p>1997年よりSOHO CITY みたか構想、中心市街地活性化事業に取り組み、株式会社まちづくり三鷹を設立、三鷹産業プラザの建設、三鷹電子商店街、三鷹子育てねっと、三鷹光ワークスなどのプロジェクト、2002年～2005年 経済産業省の地域新生コンソーシアム事業にて高解像度医療用顕微鏡開発事業</p> <p>2007年12月秋葉原タウンマネジメント株式会社設立: 広告事業などエリアマネジメント事業、</p>				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>2009年4月 財団法人まちみらい千代田 専門調査員就任:「市町村サテライトオフィス東京」</p> <p>2010年10月株式会社ローカルファースト研究所設立。全国の人口減少し過疎化する地域の活性化と地域産業の振興に取り組む</p> <p>2011年 震災復興ワークス設立 東日本大震災で大きな被害を受けた自治体支援</p> <p>2015年 東洋大学にてPPP手法に基づく官民連携による拠点施設づくり支援</p> <p>2018年 内閣府自治体SDGs推進評価・調査検討会委員に就任し、SDGs未来都市への取り組みを支援している</p>		
メッセージ	<p>人口減少と高齢化が進む中で、地域経営は大きな転換期を迎えています。これまでのように自治体が主体となる手法から官民連携、官民協働のまちづくりへと移行しつつあります。具体的には、年金、医療、福祉、教育、労働などほとんどお社会制度の改革、政策の転換が必要となっています。</p> <p>そこに必要なことは新しい発想と個人の力量です。組織から個人の役割が大きくなる中で人材の育成が不可欠です。</p> <p>SDGsの推進にむけて人を中心としたまちづくり、公共施設の運営と整備を含めた官民連携によるPPP手法、アフターコロナにけるデジタル化の推進を支援します。</p> <p>書館司書10年の経験をもとに新たな図書館政策を進める等、のアドバイスを行います。</p>		
関連ホームページ	local-first.jp	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。